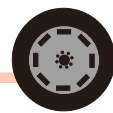


ホイール・ナットの緩みを見える化へ

規定トルクで締め付けたホイール・ナットに「マーキング」して、走行等によりホイール・ナットが緩んだ状態を可視化できます。

確実な日常点検の実施方法を社内で再徹底しましょう。

ホイール・
ナットへの
マーキング例



50km～100km走ったら 必ずトルクレンチで増し締めを！

※〔規定トルク〕 550～600N・m

規定トルクで締め付けを行っても、走行すると必ず緩みが発生します。

タイヤを交換してから50kmから100km走行後、トルクレンチを使って、規定トルクでの増し締めを必ず実施してください（トルクレンチを保有していない場合には、最寄りの整備工場など、トルクレンチが備わっているところで実施しましょう）。

※増し締め作業を行う場合には、道路上で行うのは危険なのでやめましょう。



タイヤ交換後の注意点

50～100km走行後には
トルクレンチを使って、規定トルクでの増し締めを必ず実施

トルクレンチ導入助成 実施中！

助成の詳細は最寄りのトラック協会にお問合せください

車輪脱落事故を起こすと行政処分等により「車両の使用停止」

行政処分等の基準

ホイール・ボルトの折損、ホイール・ナットの脱落
またはそれらに類する事象に起因する
車輪脱落事故が発生したもの^(注)

(注)車輪が脱落した要因に事業者の関与が無く、事業者による点検整備が確実に行われていることの証明があった場合を除く。

※3年以内に再発すると「整備管理者は解任」されます

車両の使用停止期間

初違反
20日車

再違反
40日車

適正なタイヤ交換作業の手順などの情報はこちらからご覧ください



タイヤ交換作業の手順と方法(動画)

https://jta.or.jp/member/anzen/datsurin_torikumi.html



日常点検項目と点検のポイント(動画)
タイヤ交換時のポイント(動画)

https://jta.or.jp/member/anzen/tenken_snow_dvd.html



車輪脱落事故の情報

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/tenken/t2/t2-1/>



事故の恐ろしさを知って！
大型車の車輪脱落事故(動画)

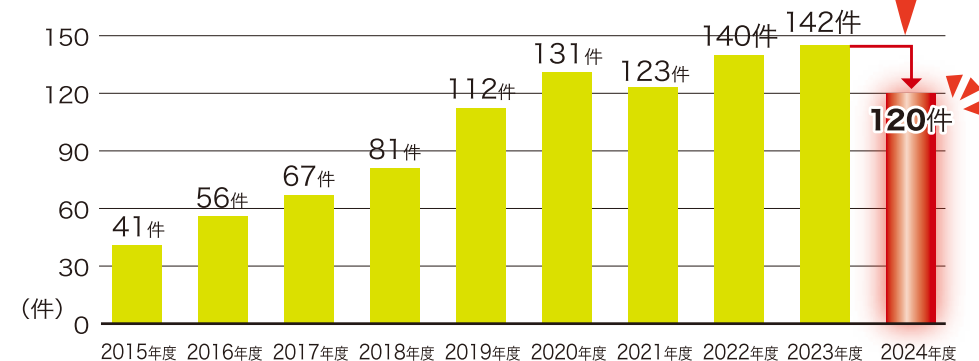
<https://www.youtube.com/watch?v=BE6-rcq81C8>



さらに減らそう 車輪脱落事故

引き続き車輪脱落事故防止に向けて、正しい交換作業と増し締めをお願いします。

事業者努力の結果、2021年度以来の減少！



※統計データは、「自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告」(国土交通省)による。以下、同じ。

近年の人身事故の状況

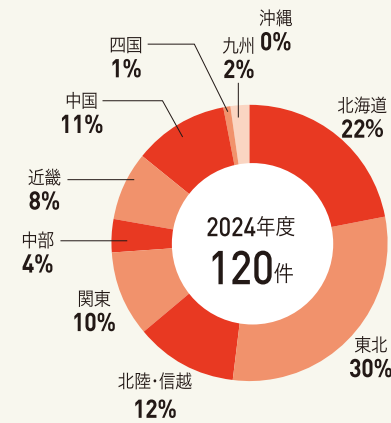
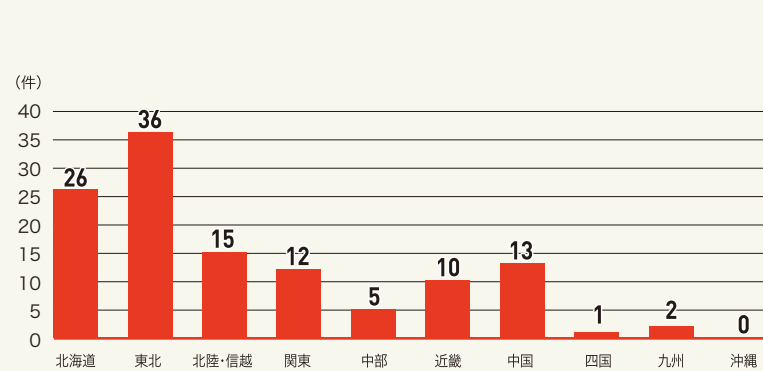
2024年	重傷事故	1件
	軽傷事故	2件
2023年	死亡事故	1件
	重傷事故	1件
2022年	軽傷事故	1件
2021年	重傷事故	1件
	軽傷事故	4件



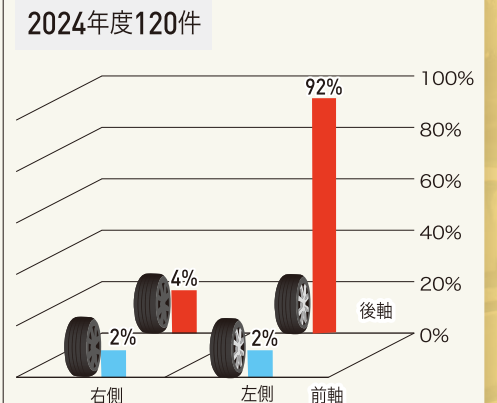
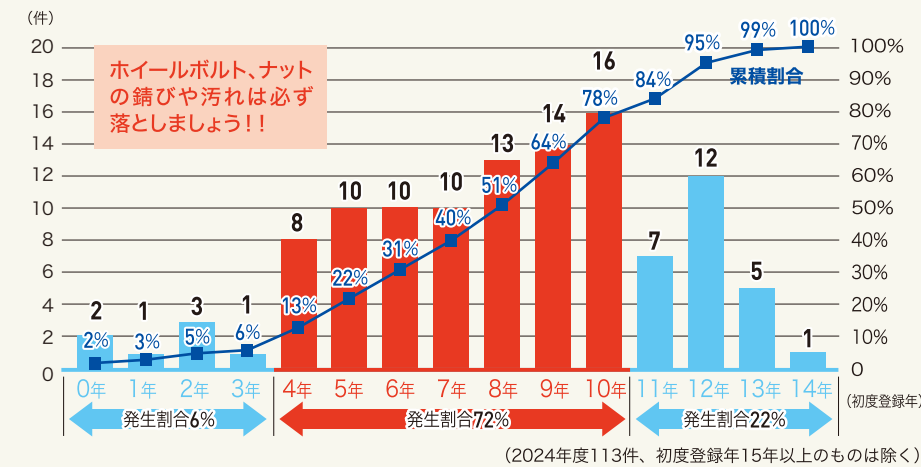


2024年度のタイヤ脱落事故の状況

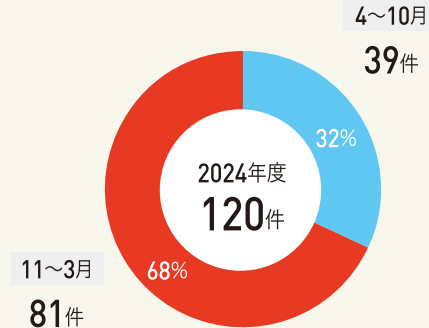
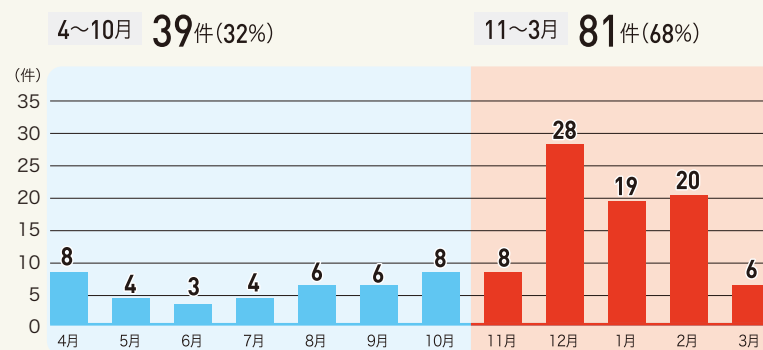
車籍別にみると、**東日本地区**に多く発生！



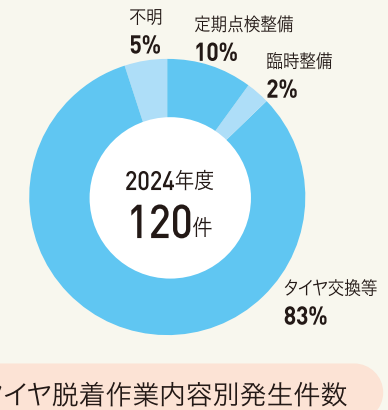
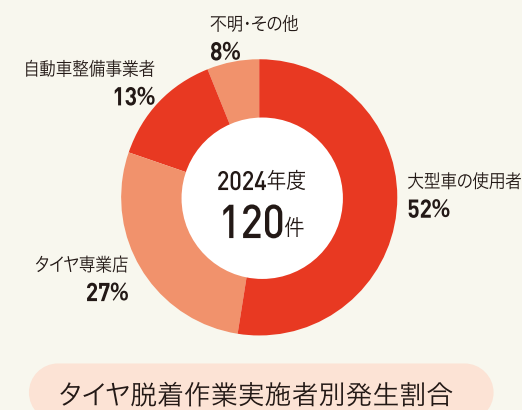
初度登録**4～10年**の車両に多く発生！ 左後輪が**9割強**！



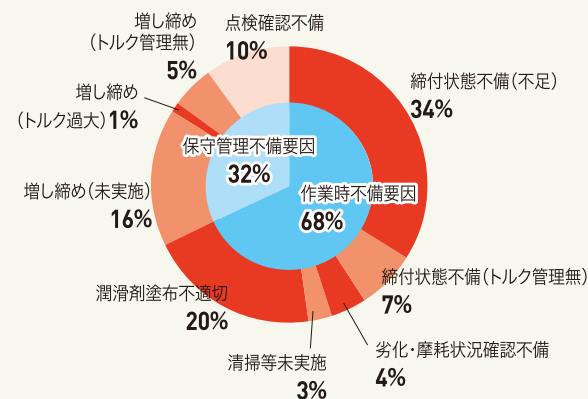
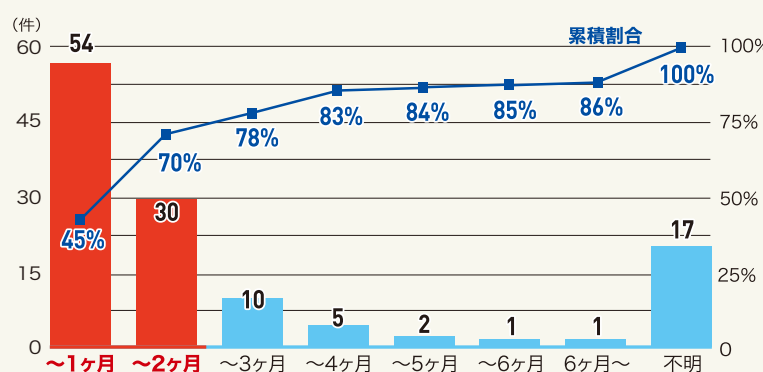
11月から3月の**冬季**に**7割近く**が脱落。



大型車の使用者が多く、タイヤ交換等の実施後の脱落が**約9割**。

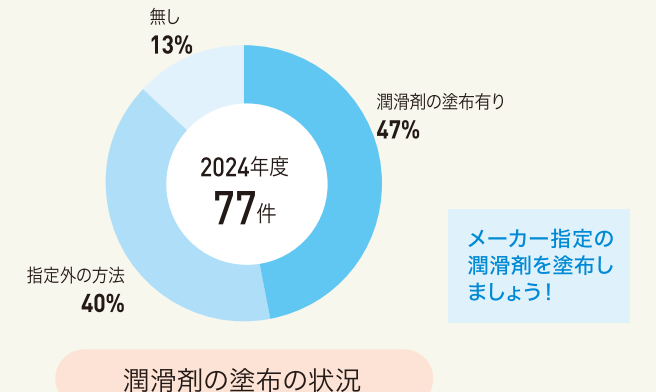
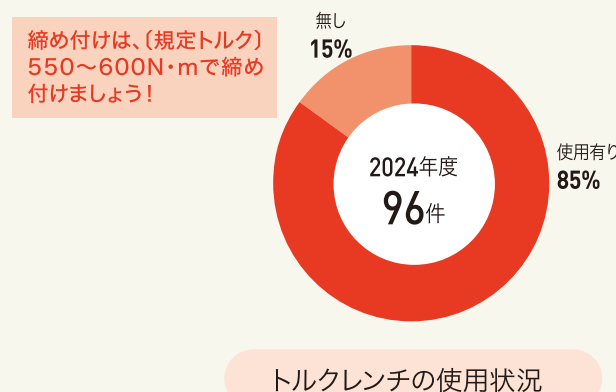


タイヤ交換後から2ヶ月以内に**7割**が脱落。



※1件の事故に複数の不備もあり ※グラフは不明を除く

タイヤ交換時のトルクレンチの使用は**約9割**！ ただし潤滑剤の塗布は**約5割**！



メーカー指定の潤滑剤を塗布しましょう！

※いずれのグラフも不明は除く。